

昭和九年中福岡地方労働組合の情勢

一、主なる傾向

- 1、右翼労働組合の産業平和運動
- 2、合法左翼労働組合の戦線統一
- 3、労働組合改勢と炭山地方の暴力事件

二、一般の情勢

- 1、労働組合の消長と思想的分野より見たる現勢
- 2、労働組合の産業別並に地域別情勢
- 3、主なる労働組合運動

三、福岡地方労働組合名簿

昭和九年中福岡地方労働組合の情勢

一、主なる傾向

概要 滿洲事變後の非常時局を背景として臺頭したファッショ運動に感倒されて、一時混亂した労働組合運動の戦線も、既に三ヶ年の苦闘時代を経過したのである。此の間外部的には何れの組合も戦線の整備統一に努めたのであるが、就中内面的には健全なる労働組合主義に依る産業協力精神を確立し、専ら實力の涵養に邁進しつつあるは右翼労働組合にして、其の系統下にある労働組合會議九州地方協議會加盟の右翼労働団体は、勢資協力産業平和の運動に参加して資本家側の理解を得るに努め、漸次健全なる組合運動の進展をなしつつあるに對し、中間乃至左翼労働組合として有力団体たりし九州合同労働組合は、昨昭和八年末一應解体の上改めて本年四月北九州一帯の同組合系の労働者を糾合して、九州